

令和7年冬前までの供用に向け全力で工事を推進！

令和5年7月から掘削作業に着手・推進していた大石トンネル(約1,420m)が、**令和7年7月8日(火)に貫通しました。**

同日には、工事受注者が主催する貫通式が開催され、約70名の出席者が、無事故・無災害でのトンネルの貫通を祝いました。



通り初め



鏡開き

貫通式では、貫通発破、通り初め、鏡開き等を行いました。

発注者挨拶では、菅原県南広域振興局長が「これまで事業に御協力いただいた岩手南部森林管理署、北上川ダム統合管理事務所、西和賀町、東日本高速道路株式会社などの関係者の皆様に深く感謝を申し上げる。大石トンネルの工事をはじめとした災害復旧事業全体を推進し、**今年の冬前までの供用開始に向けて全力で取り組んでいく。**」と今後の抱負を述べました。

今後、現場では、トンネル内の舗装・設備等を進めていきますが、新設トンネルと現道を接続する函渠の施工のため、**8月以降に夜間の通行止めを行う予定**です。

皆様には御不便をおかけしますが、
通行規制に係る最新の情報は右記の
ホームページに掲載しておりますの
で、御理解、御協力をお願いします。

★ 国道107号大石地区の 災害復旧事業の状況



起点側（北上側）のトンネル坑口付近の状況



R7.5時点の状況



終点側（西和賀側）のトンネル坑口付近の状況



R7.5時点の状況